

めぶきフィナンシャルグループ

2020年度第3四半期

決算説明資料



## 1. 2020年度第3四半期決算概要

---

(1)業績ハイライト	3
(2)決算概要／経常利益の前期比増減	4～5
(3)トピックス	
貸出金	6～7
信用コスト	8
有価証券運用・政策保有株式	9

## 2. 第2次グループ中期経営計画の進捗

---

(1)ITデジタル・コンサルティング機能の強化 資産形成・資産継承／法人ソリューション	11～15
(2)構造改革 経費削減／グループ会社	16～18

## 3. 業績予想・株主還元・SDGsへの取り組み等

---

(1)業績予想	20
(2)株主還元・自己資本比率	21
(3)2020年度第3四半期業績詳細	22～24
(4)SDGsへの取り組み	25
【計数編】子銀行内訳	26～30

\* 特に表示がないものについては「銀行(単体)合算」の計数をもとに作成しています。  
\* 西暦で表示しています。



# 1. 2020年度第3四半期決算概要

# 業績ハイライト

## 2020年度第3四半期決算

	第3四半期実績	通期業績予想	進捗率
FG連結純利益 <sup>(*1)</sup>	294億円 (前年同期比△59億円)	330億円	89.3%
信用コスト(銀行合算)	136億円 (前年同期比+13億円)	(通期計画)200億円	68.1%

- FG連結純利益<sup>(\*1)</sup>の通期業績予想に対する進捗率は89.3%。通期計画に対し順調に進展。
- コロナ禍は長期化しているものの、信用コストおよび営業面への第3四半期までの影響は、業績予想公表時(2020年5月)の想定内に収まる。
- ただし緊急事態宣言が延長されるなど、依然として先行き不透明な状況にあることから、通期業績予想は当初公表値を据え置く。

(\*1)親会社株主に帰属する四半期純利益

## 第2次中期経営計画の進捗

	第3四半期実績	前年同期比
経費(銀行合算)	825億円	△35億円(△4.0%)
コア業務純益 <sup>(*2)</sup> (銀行合算)	517億円	+18億円(+3.7%)

- コンサルティング機能の強化は、投資専門子会社の設立も含め、常陽、足利銀行において体制面を整備。
- 構造改革は、店舗ネットワークの見直し、集中部署・子会社の再編を中心に実施。  
この結果、経費削減が進展し、本業の収益力を示すコア業務純益<sup>(\*2)</sup>は前年同期比18億円の増益。

(\*2)除く投信解約損益

# 決算概要

## めぶきFG連結

	(億円)		
	2020年度 第3四半期	前年 同期比	通期業績予想に 対する進捗率
連結粗利益	1,445	△19	-
資金利益	1,141	+13	-
(うち預貸金利息差)	(801)	(△2)	-
役務取引等利益	283	△10	-
特定取引利益	25	+0	-
その他業務利益	△4	△23	-
営業経費	866	△27	-
与信関係費用(信用コスト)	147	+7	-
株式等関係損益	8	△53	-
<b>経常利益</b>	<b>448</b>	<b>△55</b>	<b>92.3%</b>
特別損益	△7	△5	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	294	△59	89.3%

### 【FG連結調整】 △76億円

足利銀行子会社からの受取配当金 △41億円  
有価証券連単簿価差に伴う調整額等 △29億円など

### 【参考】銀行合算

- 四半期純利益(銀行合算)328億円には、足利銀行子会社からの受取配当金41億円を含みます(特別損益に計上)。ただし子会社からの受取配当金は連結消去されるため、FG連結決算へ影響はありません。

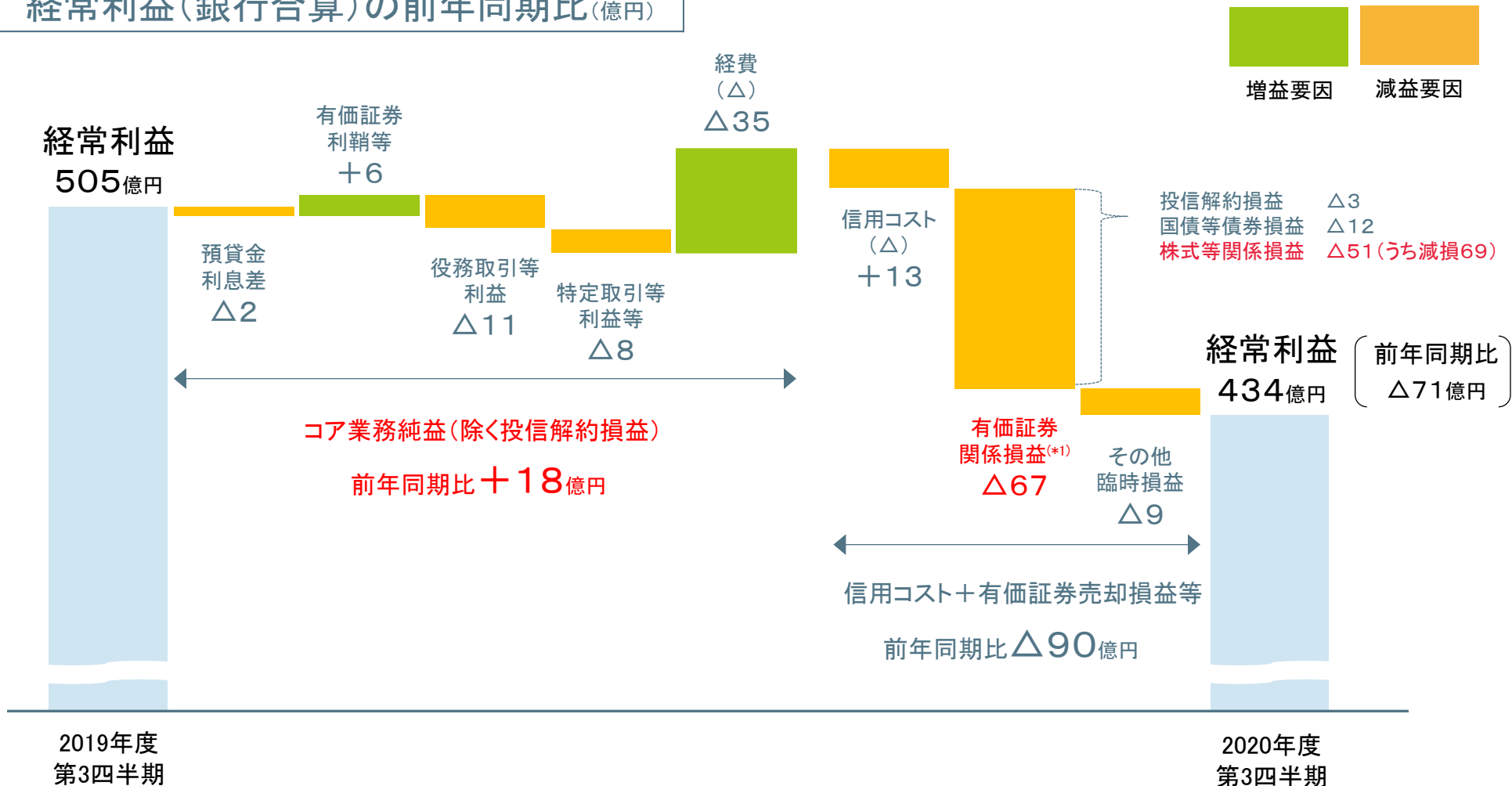
## 銀行単体合算／グループ会社合算

	(億円)		
	2020年度 第3四半期	前年 同期比	通期業績予想に 対する進捗率
<b>【銀行合算】</b>			
業務粗利益	1,391	△32	-
(コア業務粗利益)	1,403	△19	-
資金利益	1,163	+0	資金利益 (除く投信解約損益) 前年同期比+4
(うち預貸金利息差)	(793)	(△2)	
(うち投信解約損益)	(60)	(△3)	
役務取引等利益	227	△11	-
その他業務利益他	0	△21	-
(うち国債等債券損益)	△11	△12	-
経費	825	△35	-
実質業務純益	566	+3	-
コア業務純益	577	+15	-
<b>コア業務純益(除く投信解約損益)</b>	<b>517</b>	<b>+18</b>	-
一般貸倒引当金繰入額(a)	8	+4	-
業務純益	557	△0	-
臨時損益	△123	△71	-
うち不良債権処理額(b)	127	+9	-
うち株式等関係損益	19	△51	-
<b>経常利益</b>	<b>434</b>	<b>△71</b>	<b>92.3%</b>
特別損益	33	+36	-
<b>四半期純利益(銀行合算)</b>	<b>328</b>	<b>△29</b>	<b>98.1%</b>
<b>四半期純利益(銀行+グループ会社合算)</b>	<b>371</b>	<b>△23</b>	-
信用コスト(銀行合算) (a) + (b)	136	+13	(68.1%)

# (参考) 経常利益(銀行合算)の推移

経常利益は前年同期比△71億円。政策保有株式の減損(71億円・前年同期比+69億円)を主因に減益となるが、本業の収益力を示すコア業務純益は前年同期比+18億円。

## 経常利益(銀行合算)の前年同期比(億円)



(\*1) 投信解約損益+国債等債券損益+株式等関係損益

# (1)トピックス ～貸出金(新型コロナウイルス関連)～

事業者向け・新型コロナウイルス関連貸出金の累計実行金額は、4,273億円。  
保証協会付貸出金が全体の約6割(地元では7割以上)を占める。  
業種別では大きな偏りはない。

## 法人向け新型コロナウイルス関連貸出金実行額・12月末累計(億円)

	合計			地元貸出金			都内貸出金		
	保証協会付	プロパー		保証協会付	プロパー		保証協会付	プロパー	
実行金額	4,273	2,474	1,799	3,482	2,425	1,056	791	48	743

## 地元事業性貸出金 業種別・増加額上位5業種(億円)

業種	12月末残	前年同期比
<b>【上位5業種】</b>		
① 電気・ガス等	1,881	+443(+30.8%)
② 製造業	6,987	+229(+3.4%)
③ サービス業	6,795	+143(+2.1%)
④ 建設業	3,124	+136(+4.6%)
⑤ 運輸業等	1,875	+129(+7.4%)
<b>【残高減少業種(2業種のみ)】</b>		
② 卸売・小売業	7,698	△114(△1.5%)
① 不動産業	12,394	△305(△2.4%)

## 新型コロナウイルスの影響による条件変更申込状況

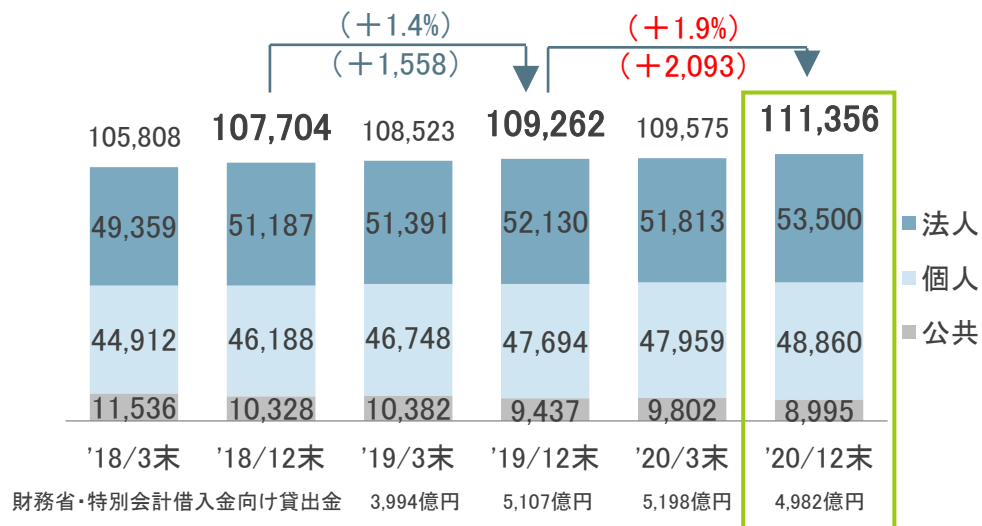
	6月末	9月末	12月末
事業性貸出金 (割合*2)	925先/2,659件 (1.6%程度)	1,307先/4,099件 (2.2%程度)	1,665先/5,838件 (2.9%程度)
住宅ローン (割合*2)	293先/329件 (0.1%程度)	433先/477件 (0.2%程度)	523先/601件 (0.2%程度)

(\*2) 総債務者に占める割合

# (1)トピックス ～資金繰り支援等の状況～

貸出金末残は、前年同期比+2,093億円(年率+1.9%)。地元法人、住宅ローン、マイカーローンが牽引。  
住宅ローン、マイカーローンは、コロナ禍も踏まえたWeb契約促進等により、新規実行額が増加。

## 貸出金末残\*1・銀行合算(億円)



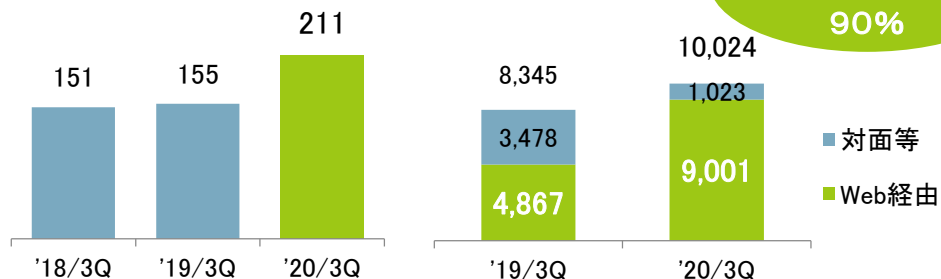
## 末残増減・前年同期末比(億円)

	19/12末	20/12末
全体	+1,558 (+1.4%)	+2,093 (+1.9%)
法人	+943 (+1.8%)	+1,369 (+2.6%)
地元	+485 (+1.5%)	+1,020 (+3.1%)
都内	+457 (+2.3%)	+349 (+1.7%)
個人	+1,506 (+3.2%)	+1,165 (+2.4%)
ウチ住宅ローン	+1,680 (+5.0%)	+1,539 (+4.3%)
ウチマイカーローン	+64 (+14.4%)	+94 (+18.7%)
公共	△891 (△8.6%)	△441 (△4.6%)

## マイカーローン実行金額・件数

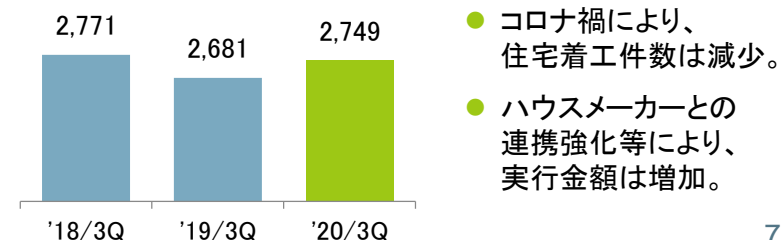
【実行額(億円)】

【実行件数(件)】



## 住宅ローン実行金額

【実行額(億円)】



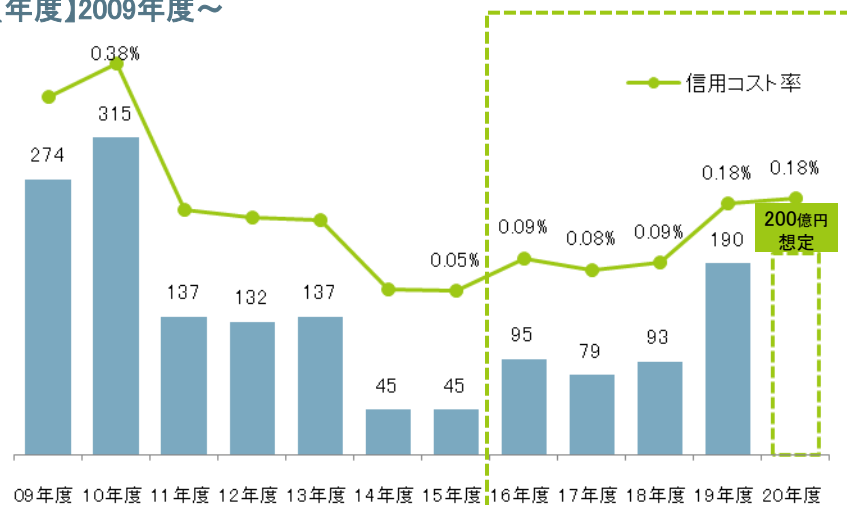


## (2)トピックス ～信用コスト～

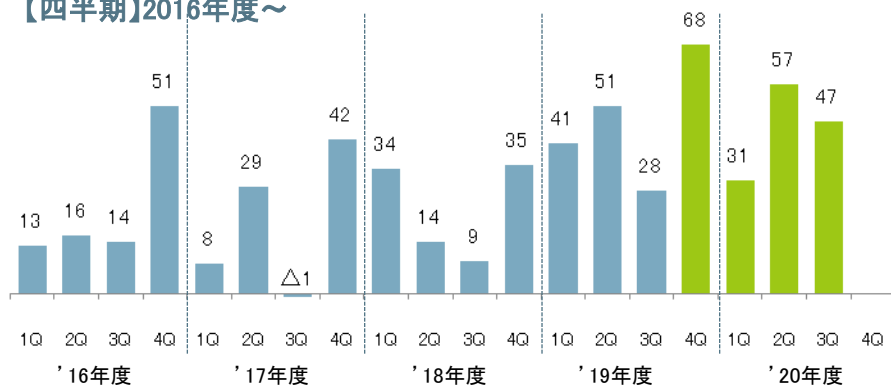
2020年度の信用コストは、コロナ禍の影響拡大も踏まえ、年間200億円を想定。  
 足元では企業倒産は落ち着いた状況にあるものの、コロナ禍の長期化を見据え、予防的に  
 個別貸倒引当金を積み増し(現状では想定内の動き)。

### 信用コストの推移(億円)

【年度】2009年度～



【四半期】2016年度～



### 信用コスト内訳(億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年同期比
与信関係費用	122	136	+13
一般貸倒引当金繰入額	4	8	+4
不良債権処理額	117	127	+9
貸出金償却	62	18	△43
<b>個別貸倒引当金繰入額</b>	56	<b>111</b>	<b>+54</b>
偶発損失引当金繰入額	2	2	+0
償却債権取立益(△)	12	13	+0
その他	8	7	△0

### 個別貸倒引当金等の増加先上位5業種(先・億円)

先数

624先・増加額合計151億円

\* 個別貸倒引当金・貸出金償却が増加した先の合計。  
 減少した先は、1,038先・減少額合計21億円。

うち1億円以上

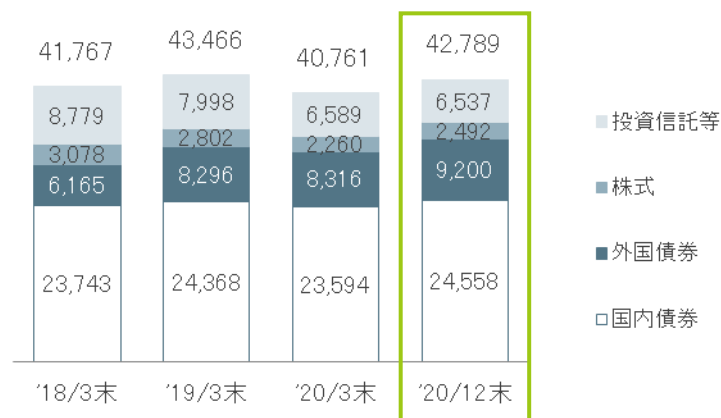
36先・増加額合計84億円

上位5業種	先数	引当金等増加額
① 製造業	132	47
② 卸売・小売業	156	30
③ 建設業	84	15
④ 不動産業	56	15
⑤ 電気・ガス等	3	13

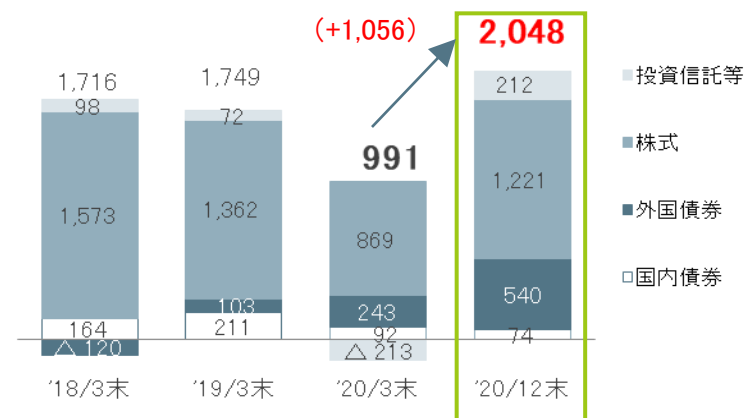
### (3)トピックス ～有価証券運用・政策保有株式～

有価証券関係損益は、保有株式の減損(71億円・前年同期比+69億円)を主因に、前年同期比△67億円。一方、評価損益は3月末から大幅増加し、2,000億円を超える水準まで拡大。政策保有株式は残高縮減を強化。(簿価)残高は、2020年3月末比△151億円(△13.2%)。

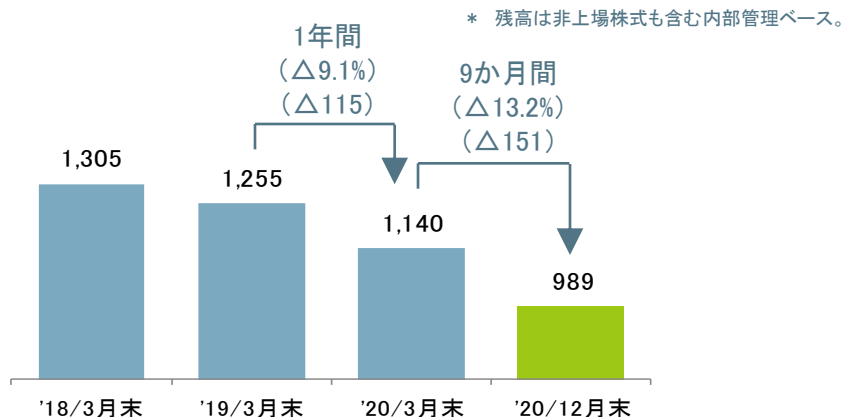
末残(FG連結・貸借対照表計上額)(億円)



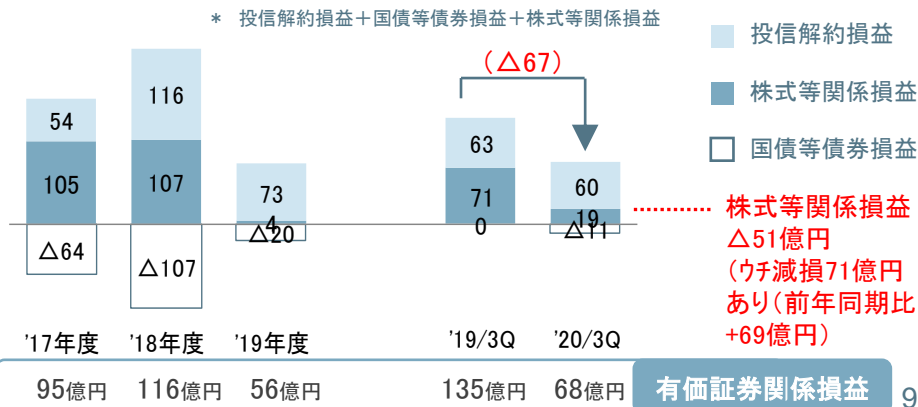
評価損益(FG連結・その他有価証券)(億円)



政策保有株式(簿価残高\*) (億円)



有価証券関係損益(\*) (銀行合算)(億円)



## 2. 第2次グループ中期経営計画の進捗

# (1) ITデジタル・コンサルティング機能の強化

デジタル化の進展と、コンサルティング営業を融合させることで、お客さま・当社グループの利便性・効率性を高めるとともに、コロナ禍においてもサービスレベルの領域拡大・質の向上を実現する。

## IT・デジタル化の進展

- 2020年6月、**りそなHDと「戦略的業務提携」**を締結。

### 業務提携内容

- ① バンキングアプリの強化および営業プロセス・店頭業務改革の追求
- ② デジタル分野の連携および人材交流を通じたノウハウの共有・向上
- ③ 他の金融機関・異業種等更なる連携・協業の拡大

### 具体的な施策展開

「バンキングアプリ」の導入【2021年3月】  
「店頭セルフ端末」の導入【2021年4月以降】

## コンサルティング営業体制の強化

- 常陽銀行、足利銀行それぞれにおいて営業体制を強化。

常陽銀行  
(2020年6月)

「コンサルティング営業部」の新設

足利銀行  
(2020年10月)

「ブロック個人営業部(営業店の新形態)」の新設  
「プライベートバンキング室(本部組織)」の新設

- 投資専門子会社2社および事業承継ファンド等を設立。ベンチャー企業の育成・支援や事業承継・事業再生に取り組む企業への資金提供、経営支援を積極化。

常陽キャピタルパートナーズ(常陽銀行100%出資)

ウイング・キャピタル・パートナーズ(足利銀行100%)

## IT・デジタル化の具体的な取り組み

随時

定例事務のRPA化

4月

営業店・本部間協議・報告の電子化

6月

りそなHDとの戦略的業務提携

7月

WEBライフプラン診断サービスの機能拡充

9月

WEB完結型医療保険の取扱開始

10月

税金収納スマホ決済提携先の拡充

2021年3月

**バンキングアプリの導入**

2021年度中

**店頭セルフ端末の導入(店頭事務再構築)**  
融資取引への電子契約導入

コンサルティング強化  
(領域拡大・質の向上)

デジタル化の加速・拡大

利便性  
向上

# (1) - 1 バンキングアプリの導入

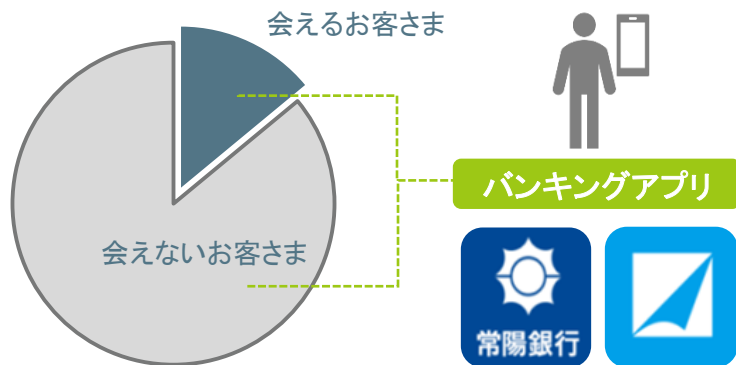
2021年3月、「バンキングアプリ」を導入予定。

個人顧客とのメインチャネルを構築するとともに、店頭事務の効率化・コスト削減を加速させる。

## 導入の狙い・従来サービスからの違い

### 顧客接点の確保

- スマホが、日常生活の中心に



### 「多機能性」から「顧客体験」を重視

- 「どんな取引ができるか」よりも、「どれだけストレスなく取引ができるか」を重視

**UX** User Experience

## 利便性・簡便性・セキュリティ



### かんたんな手続き

- ☑ 書類・印鑑による契約不要
- ☑ アプリダウンロード+口座登録で即利用可能

ほとんどの取引が3タップで完結  
⇒ 操作上のストレスを排除



### セキュリティの確保

- ☑ 端末認証や生体認証
- ☑ その他にもさまざまな仕組みを導入



### 快適な画面操作

- ☑ アプリと銀行の勘定系システムをAPI接続 (100以上のAPIを開発)

アプリ操作が銀行システムに連動  
⇒ 銀行の事務処理を省略



### 継続的な改善

- ☑ リソナHDとのアジャイル開発体制の構築
- ☑ 外部環境やお客さまの声に速やかに対応

# (1) - 1 バンキングアプリの導入

## 主なサービスメニュー

2021年3月  
リリース

### 導入当初提供サービス

- 振込(24時間365日対応可能)
- 積立・定期預金の預入・払出
- 普通預金の残高・入出金照会、入出金のグラフ表示
- ローン残高照会
- 入出金・引落し不能通知(PUSH通知機能の活用)
- 店舗・ATM検索(GPS機能の活用)

5月  
機能追加  
(予定)

- ワンタップ振込(定期的に発生する振込を事前登録し、ワンタップで振込完了)
- 目標預金(車購入・旅行などお客さまの目標に合わせた積立定期預金の作成)
- 税金納付(Pay-easy対応の税金等の納付)
- 外貨預金の口座作成・預入・払出・残高照会
- キャッシュカードの停止・再開設定

7月  
機能追加  
(予定)

- 入出金レポート(入出金明細の自動振分けによる家計簿化)
- 振込予約(7営業日先まで可能)

9月  
機能追加  
(予定)

- 公共料金口座振替の申込み
- 住所・電話番号変更

## 期待効果(バンキングアプリ・店頭セルフ端末)

### 獲得ユーザー数

**160万**ユーザー(導入3年間累計)

○ 個人顧客の約半数

⇒ 個人顧客のメインチャンネルに

### 既存コスト削減額

**42**億円程度(導入5年間累計)

○ 既存インターネットバンキングの開発運営コスト  
○ 店頭事務にかかる人員・システムコスト

⇒ IT・DX投資の拡大へ(経営資源シフト)

### DXの実現

- デジタルチャネルの特性を生かした双方向コミュニケーション⇒セグメントに合わせた提案
- アプリを通じたマーケティングの高度化  
⇒アプリ利用データに基づくタイムリーな顧客提案
- お客さまが自由にチャンネルを選択(非対面/対面サービス)⇒デジタルとリアルを融合させたDX実現

# (1)ー2 コンサルティング機能の強化

子銀行での営業体制強化に加え投資専門子会社も設立し、グループ全体での提案・支援力を強化。コロナ禍により変化する顧客ニーズに対応し、顧客支援および収益の取り込みにつなげていく。

## コンサルティング営業体制の強化

### 子銀行

- 両子銀行において、コンサルティングにかかる営業体制を強化。

#### 2020年度中の実施策

足利銀行「(法人向け)本業支援室」の新設  
常陽銀行「(法人向け)コンサルティング営業部」の新設  
足利銀行「ブロック個人営業部(営業店の新形態)」と「プライベートバンキング室(本部組織)」の新設

### 投資専門子会社

- 両子銀行において、投資専門子会社および事業承継・ベンチャー企業支援ファンドを設立。

#### 投資専門会社の設立

常陽キャピタルパートナーズの設立  
(2021年1月・常陽銀行子会社)  
ウイング・キャピタル・パートナーズの設立  
(2021年2月・足利銀行子会社)

#### ファンドの組成

事業承継・ベンチャー企業支援等  
3本・ファンド総額70億円

## ツール・施策の拡充

### 外部知見の活用(カッコ内は提携先等)

- 地域創生・保険商品等の提供  
(損害保険ジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株))
- ビジネスマッチング・顧客HPの作成支援等「Joyo Big Advance」(株)ココペリ)
- 副業人材紹介(株)みらいワークス、JOINS(株)
- 海外子会社の経営管理支援((株)TKC)

### 商品・サービス

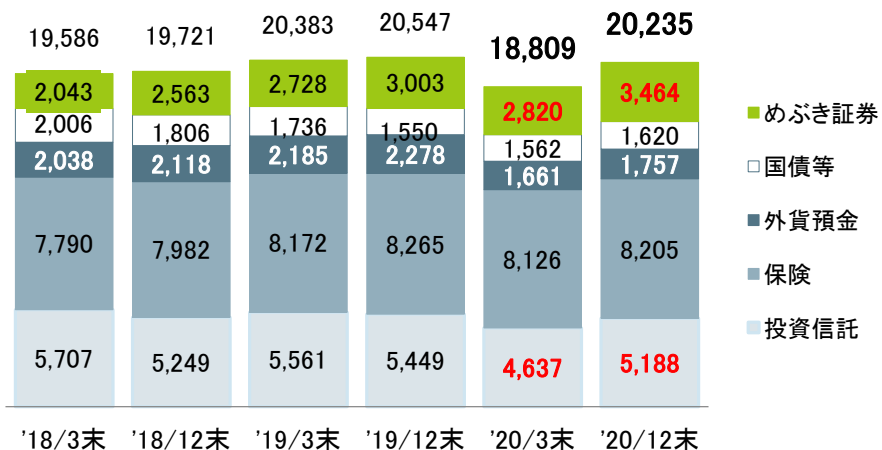
- 大規模地震発生時の元本免除貸出金の取り扱い
- 「家族連絡先登録制度」の取り扱い(ジェロントロジー活用)」
- WEBを活用した来店予約サービスの導入

### 本業支援セミナー等

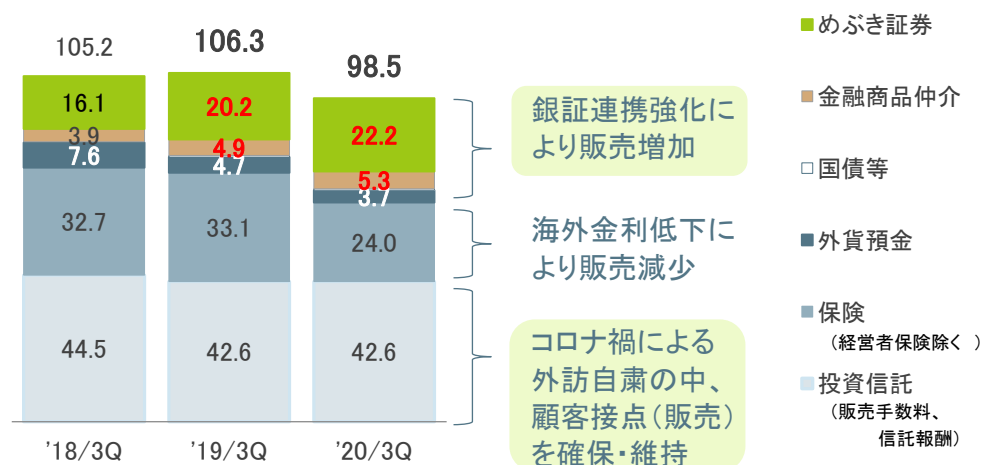
- Web活用・外部連携によるセミナー開催(カッコ内は連携先)
  - ✓ デジタル化支援セミナー(ITコーディネータ協会)
  - ✓ シンガポール発オンラインセミナー  
(ジェトロ茨城貿易情報センター、茨城県)
  - ✓ 海外市場開拓セミナー(アリババ(株))
  - ✓ 介護報酬改定セミナー(山田コンサルティンググループ(株))
  - ✓ 物流事業者向けデジタル化(船井総研ロジ(株)、(株)Azoop) 14

# (1) - 3 預り資産手数料・法人役務手数料

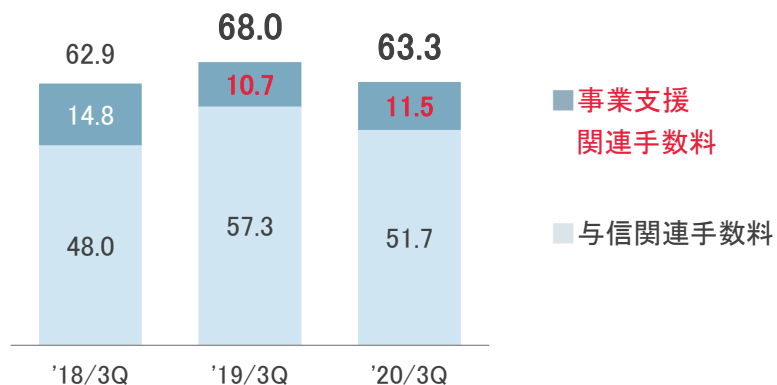
預り資産残高(銀行・めぶき証券合算)(億円)



預り資産関連手数料(銀行・めぶき証券合算)(億円)



法人役務手数料・銀行合算(億円)



## 事業支援関連手数料

前年同期比+0.8億円(+7.4%)

【ビジネスマッチング・M&A、信託業務、法人向け保険など】

- コロナ禍での顧客ニーズにタイムリーに対応。販路や仕入れ先拡大にかかるビジネスマッチングが増加。

## 与信関連手数料

前年同期比△5.6億円(△9.7%)

【シンジケートローン、私募債、デリバティブ取引、コベナンツ付貸出など】

- 実質無利子・無担保の制度融資を中心とした資金繰り支援を最優先に取り組む(コベナンツ付き融資手数料が減少)。



## (2) 構造改革

店舗ネットワークの見直し、本部組織・グループ会社の再編・統合等を進め、グループ全体で効率的な組織体制を目指す(中計3年間で1,000名の人員捻出を計画)。

これまでの進捗は計画を上回り進展し、1,000名の人員捻出(業務量削減)も2021年度中に達成見通し。

### 店舗ネットワークの見直し

#### 計画

- 中計期間3年間で、現行店舗(\*1)の2割程度の効率化(統廃合、軽量化(\*2))を計画。

約70拠点の効率化  
【国内店舗の2割程度】

(\*1) 国内店舗337店舗(銀行合算:2019年3月末)  
(\*2) 小人数店舗化など運営体制等の見直し。

3年間の見通し  
(ウチ2020年12月累計実績)

統廃合 51拠点 (21拠点)

軽量化(\*2) 104拠点 (64拠点)

155拠点以上の効率化  
【国内店舗の4割以上】

業務量削減 500名相当  
(営業店事務)

店舗ネットワークの見直しは、バンキングアプリ導入など非対面チャネルの拡充とともに展開し、お客さまとの接点の維持・拡大を進めていく。

### 本部組織・グループ会社の再編・統合

#### 本部組織

- システム企画・管理機能を集約し、持ち株会社内に「システム統括部」を新設【2020年6月】。

業務量削減 50名相当 (システム部門)

- 事務統括・企画機能を集約し、持ち株会社内に「事務統括部」を新設予定【2021年4月】。
- 事務集中業務について、プロセス、システム等を統一。カード発行、電話受付業務等は一つに集約。

業務量削減 400名相当  
(事務統括・企画、事務集中部門)

#### グループ会社

- グループ内に重複する保証子会社【2020年10月】、カード・クレジット子会社【2021年4月】を一つに集約し、めぶきFGの直接出資子会社とする。

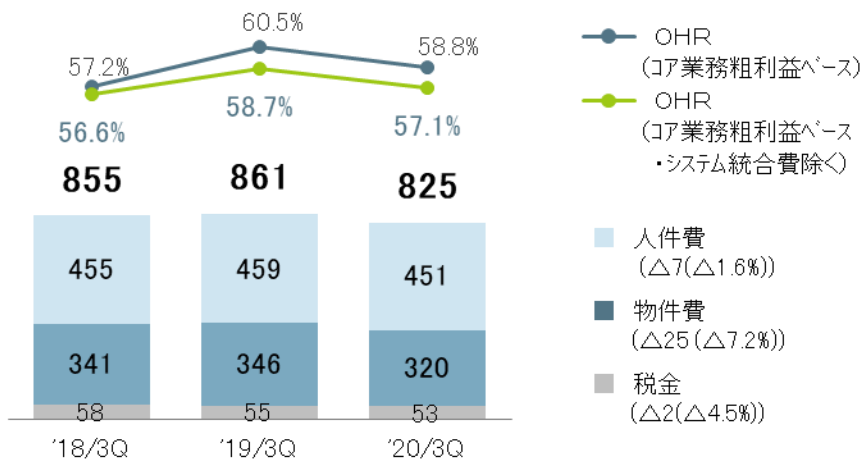
業務量削減 40名相当 (子会社)

## (2) - 1 経費削減

構造改革進展により、経費額(2020年度第3四半期)は、前年同期比△35億円(年率△4.0%)

2020年度経費は1,120億円未満(前年度比△30億円以上)を見込み、中計最終目標を1年前倒しで達成見通し。

### 経費・銀行合算(億円)



### 前年同期比 増減要因

経費(銀行合算) 前年同期比△35億円

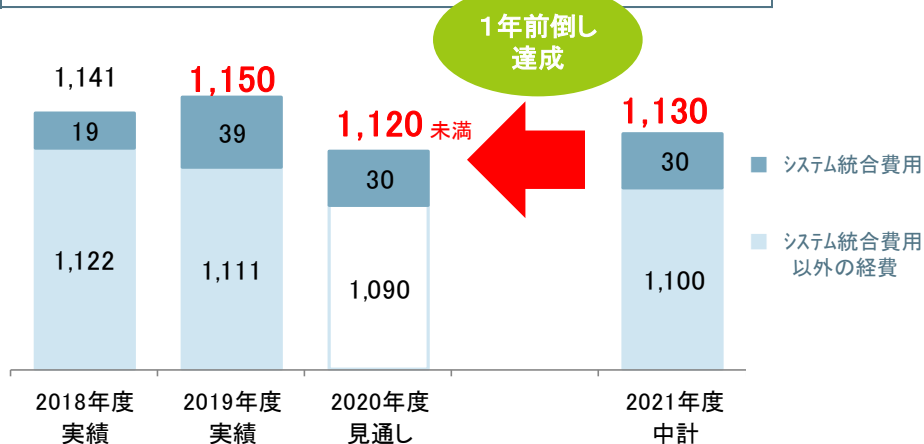
#### 【人件費】△7億円

- 給与・社会保険料等△5(総人員減少)
- 時間外減少△2(働き方改革推進)

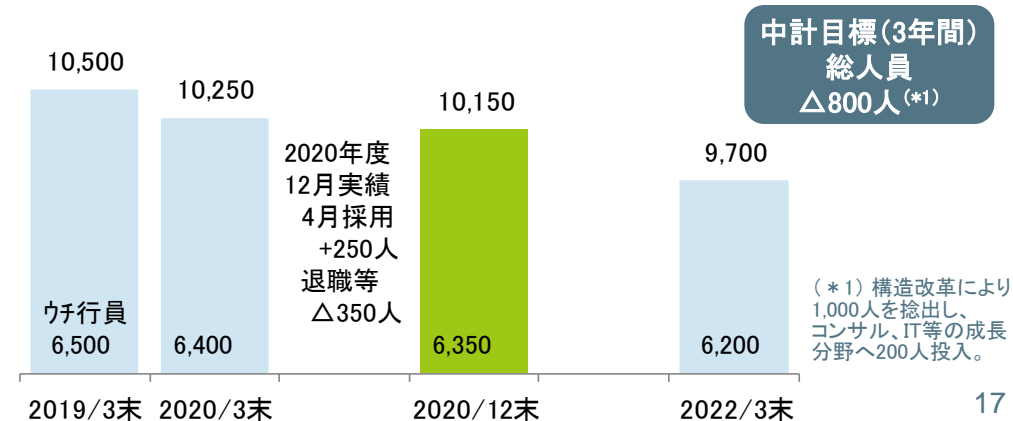
#### 【物件費】△25億円

- 減価償却費・建物賃借料△5(店舗見直し等)
- 業務委託費△4(事務集中部門、子会社再編に伴う業務内製化)
- 旅費△1(出張・研修等のWEB化促進)

### 中計経費計画(億円)



### 総人員のコントロール(人)

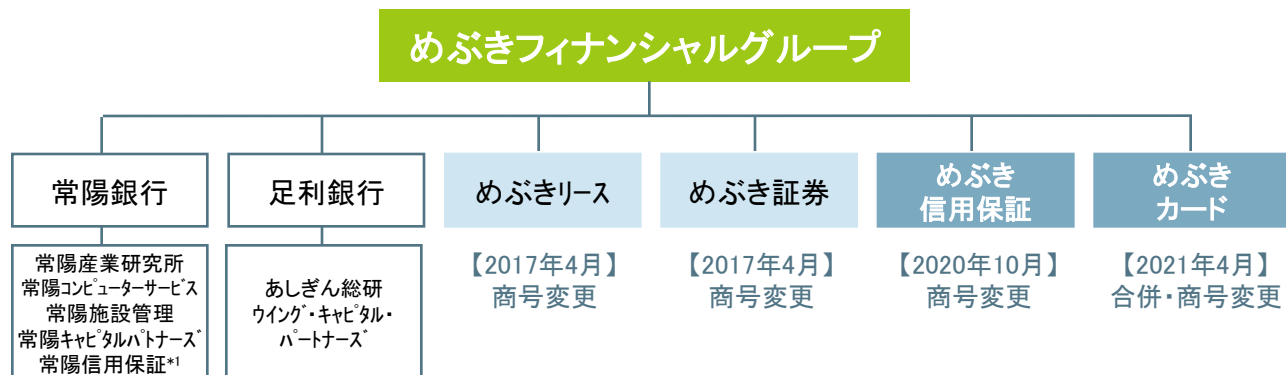


## (2) - 2 グループ会社

グループ内に重複する子会社を再編し、銀行2行のほか、FG直接出資子会社としてリース、証券、クレジット・カード、保証業務の4社体制に。

総合金融サービスグループとして、銀行以外の子会社の利益貢献を高めていく。

### グループ会社の状況 (2021年4月～)



### 純利益の状況 (第3四半期)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減
めぶきFG連結	354億円	294億円	△59億円
銀行・銀行子会社*2	360億円	289億円	△70億円
めぶきリース・めぶき証券・ めぶきカード*3・めぶき信用保証*4	34億円 利益貢献 9.6%	40億円 利益貢献 13.6%	+6億円 利益貢献 +4.0p
FG単体・連結調整	△40億円	△35億円	+5億円

(\*1) 常陽信用保証は、常陽銀行の既存住宅ローン等の保証業務のみを行います。

(\*2) 子会社からの受取配当を除く。

(\*3) めぶきカードは、常陽クレジット、あしぎんカードの合算。

(\*4) めぶき信用保証は、常陽信用保証を含む。

### 3. 業績予想・株主還元・業績詳細・SDGs

# (1)2020年度業績予想

めぶきFG連結		(億円)	
	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	485	448	92.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	330	294	89.3%

銀行合算		(億円)	
	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	470	434	92.3%
当期純利益	335	328	98.1%
(信用コスト)	200	136	68.1%

銀行単体		(億円)	
(常陽銀行)	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	305	276	90.6%
当期純利益	210	176	84.1%

銀行単体		(億円)	
(足利銀行)	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	165	157	95.6%
当期純利益	125	152	121.6% (*1)

(\*1) 足利銀行単体の当期純利益の中間期実績には、子会社からの受取配当金41億円を含みます(特別損益に計上)。ただし子会社からの受取配当金は連結消去されるため、FG連結決算への影響はありません。

## (2)株主還元・自己資本比率

2020年度の年間配当は、1株当たり11円を予定(中間配当5.5円、期末配当5.5円(予定))。  
FG連結自己資本比率は、11.29%(2020年3月末比+0.34%)。

### 1株当たり配当

- 2020年度は、1株当たり年間11.0円の配当を予定。

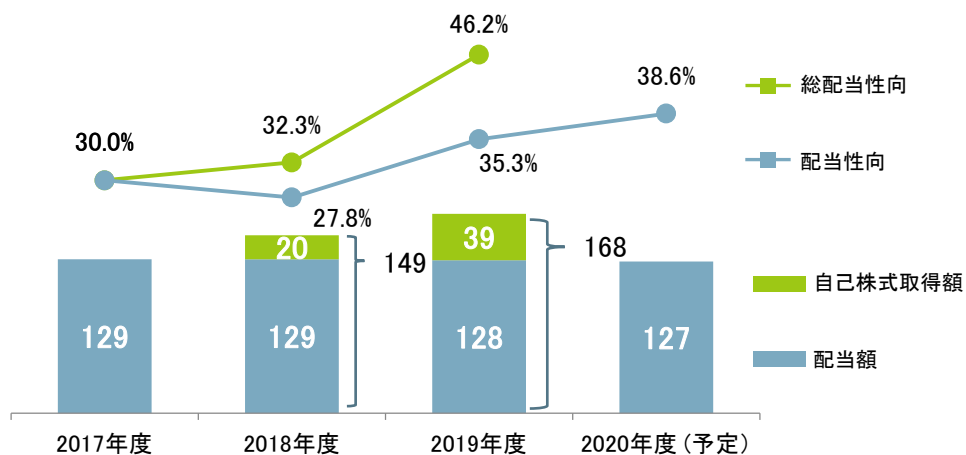
	年間配当	中間配当	期末配当
2017年度	11.0円	5.5円	5.5円
2018年度	11.0円	5.5円	5.5円
2019年度	11.0円	5.5円	5.5円
2020年度	11.0円(予定)	5.5円	5.5円(予定)

### 配当・還元方針

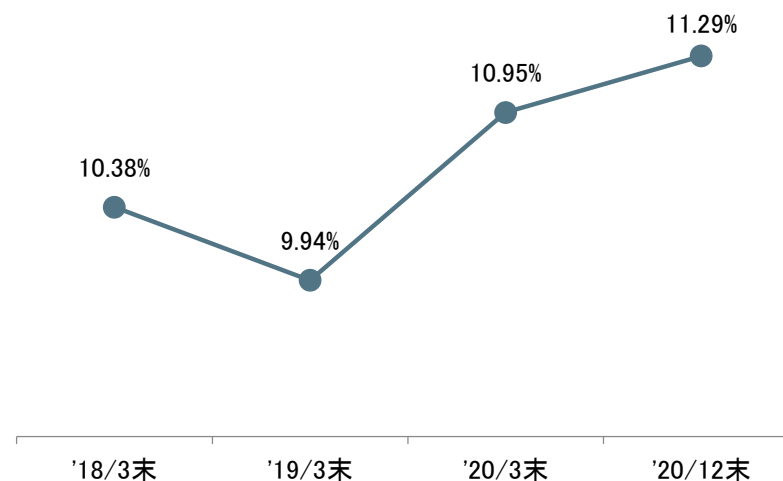
- グループとしての成長に向けた資本の確保と株主の皆さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、総還元性向<sup>(\*1)</sup>30%以上を目安といたします。水準等については、引き続き検討してまいります。

(\*1) 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得総額) / 親会社株主に帰属する当期純利益

### 配当・還元実績



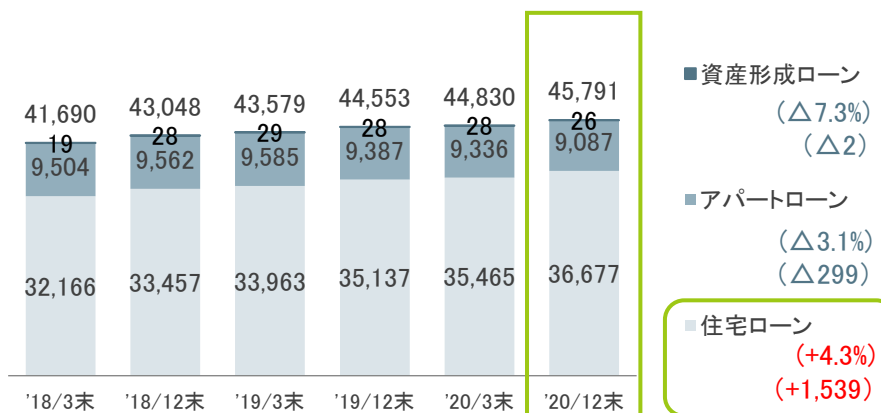
### めぶきFG連結自己資本比率



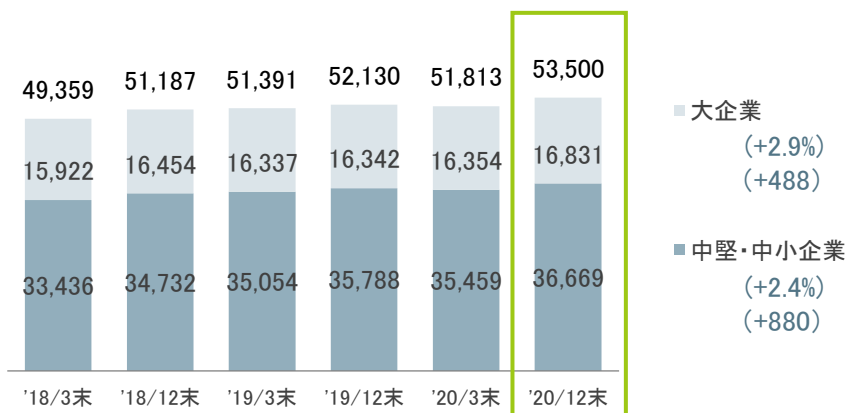
### (3) 2020年度第3四半期業績詳細 ～貸出金の内訳～

個人貸出金の増加は、住宅ローン(前年同期比+1,539億円)、マイカーローン(同+94億円)が牽引。  
法人貸出金は、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に取り組み、地元を中心に残高増加。

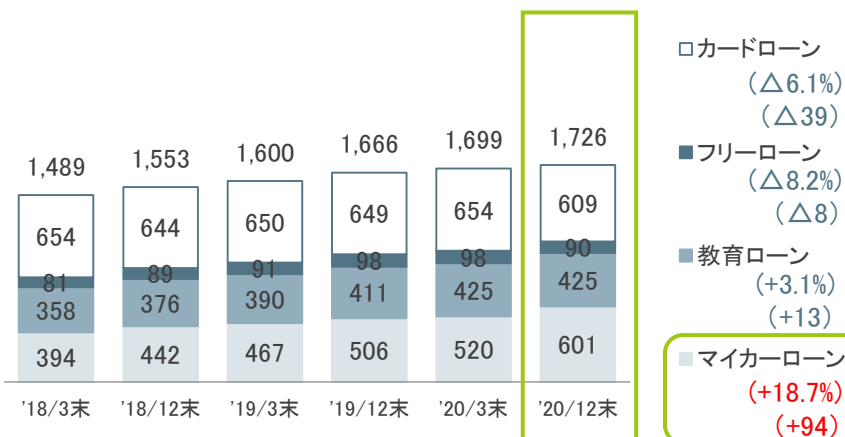
【個人】住宅関連ローン末残(億円)



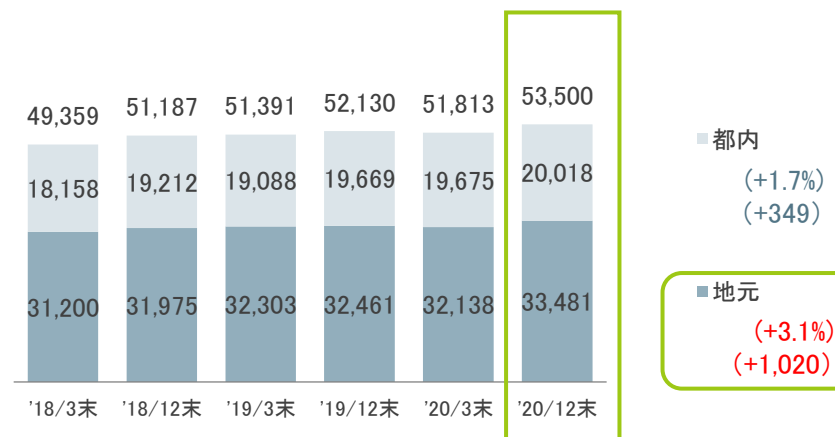
【法人】企業規模別末残(億円)



【個人】無担保ローン末残(億円)



【法人】地域別末残(億円)



# (3) 2020年度第3四半期業績詳細 ～貸出金利回り・資金利益～

貸出金利回りは、低下傾向が継続。

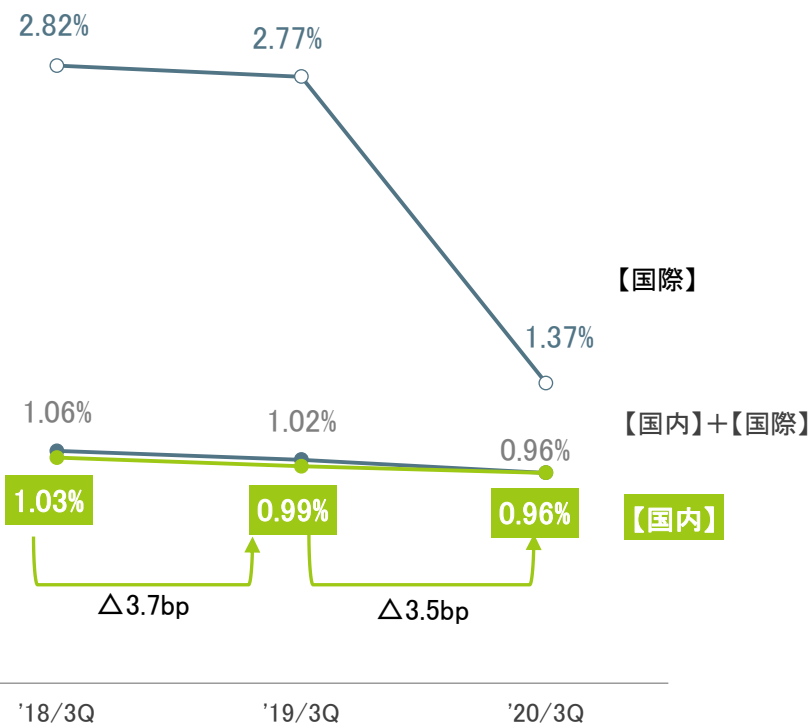
貸出金利息は減少したものの、(外貨)預金利息の減少もあり、預貸金利息差は前年同期比微減。

一方、有価証券運用も含めた資金利益は、市場調達費用の減少等もあり増加に転じた。

## 貸出金利回り・銀行合算

(国内+国際)

\* 財務省・特別会計借入金を含んでおりません。



## 資金利益の増減要因・銀行合算 (億円)

\* 貸出金利息の増減要因には、財務省・特別会計借入金を含んでおりません。

\* カッコ内は前年同期比の増減

	実績	前年同期比			
		(要因)	(国内)	平残・利回り 変化	(国際)
貸出金利息		平残	+18	+16 (平残+2,163億円)	+2 (平残+181億円)
		利回り	△49	△29 (利回り△3.5bp)	△20 (利回り△139.8bp)
	807		△30	△13	-
預金支払利息(△)	13		△28	△1	-
					△27
預貸金利息差 ①	793		△2	△11	-
					+9
有価証券利息配当金		平残	△4	△8 (平残△1,044億円)	+4 (平残+312億円)
		利回り	△45	△23 (利回り△9.7bp)	△21 (利回り△37.0bp)
	387		△49	△32	-
(うち投信解約損益)	60		△3	△3	-
					+0
有価証券利息配当金 (除く投信解約損益)	326		△46	△29	-
					△17
市場調達費用等(△)	17		△52	△5	-
					△47
有価証券等収支 (除く投信解約損益) ②	309		+6	△24	-
					+30
資金利益 (除く投信解約損益) ①+②	1,102		+4	△35	-
					+39

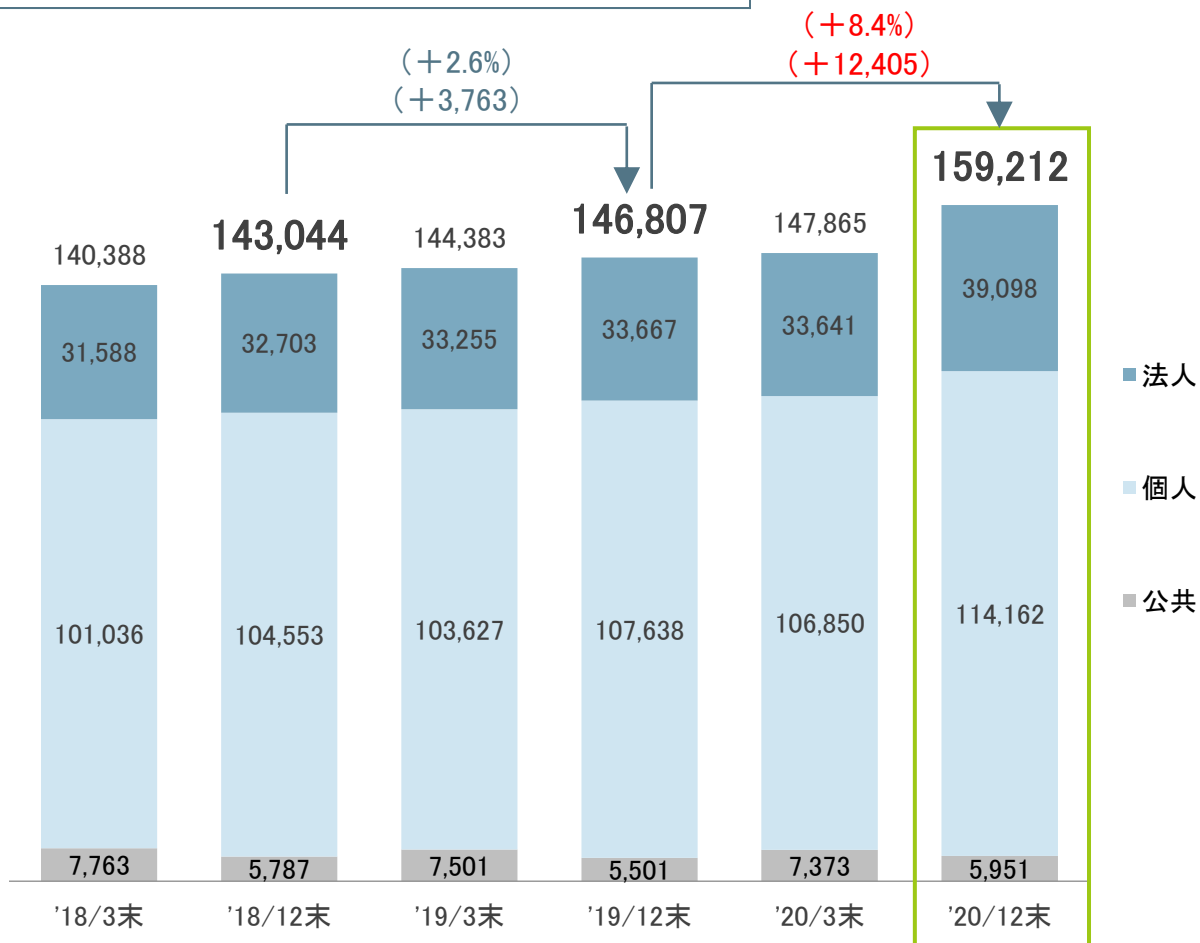


### (3) 2020年度第3四半期業績詳細 ～預金末残～

預金残高は、前年同期末比+1兆2,405億円(年率+8.4%)。

新型コロナウイルス感染症の影響長期化により、手元資金を確保する動きが強まったことなどから、全ての人格において残高が増加。

預金末残・銀行合算(億円)



末残増減・前年同期末比(億円)

	18/12末	19/12末	20/12末
全体	+3,651 +2.6%	+3,763 +2.6%	+12,405 +8.4%
法人	+927 +2.9%	+963 +2.9%	+5,430 +16.1%
個人	+2,679 +2.6%	+3,084 +2.9%	+6,524 +6.0%
公共	+44 +0.7%	△285 △4.9%	+450 +8.1%

## (4) SDGsへの取り組み

お客さま、株主、従業員、ビジネスパートナーといったすべてのステークホルダーと協同して、ゆたかな地域社会の創造に 取り組み、ともに持続的に成長することを目指していきます。地域の方とともにSDGs達成に向け取り組むため、さまざまな普及活動や取組支援を行っています。

### 「パートナーシップ構築宣言」の公表

- 中小企業の事業継続と取引適正化を後押し、大企業と中小企業が共に成長できる共存共栄の関係を構築することを目的とした「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。
- 事業を営むお客さまが下請事業者さまとの共存共栄を図り、持続的な成長へと繋がるよう、本宣言の導入を支援していきます。



### 新たな市場開拓・経済交流の拡大

- 農業、食、ものづくり関連の各種商談会を開催し、お取引先同士のビジネスマッチング等を支援しています。
- 商談会は従来の対面式からWebを活用したオンライン商談会に変更するなど、社会状況に合わせた新たな形での支援にも取り組んでいます。



オンライン商談会（イメージ）

### SDG関連事業への寄付を行う投資信託

- 2020年12月、茨城県・栃木県が実施するSDGs関連事業に対して収益額の一部を寄付する投資信託商品「グローバルESGバランスファンド」の取り扱いを開始しました。企業版ふるさと納税制度を利用し、委託会社を通じて寄付するスキームになっています。



### 環境関連投融资・環境配慮型私募債

- 環境省が実施する「2020年度地域ESG融資促進利子補助事業」の指定金融機関として採択されました。取扱実績660百万円（常陽銀行）
- 環境省など銀行が定める機関からの認定、認証等を取得している企業を対象に「環境配慮型私募債」を取り扱っています。（足利銀行）



## 【計数編】子銀行内訳

( 1 ) 2020年度第3四半期 P/L

( 億円 )

	2行合算	前年同期比	常陽銀行	前年同期比	足利銀行	前年同期比
業務粗利益	1,391	△32	807	△42	583	+10
( コア業務粗利益 )	1,403	△19	812	△26	591	+6
資金利益	1,163	+0	675	△13	488	+14
うち投信解約損益	60	△3	46	+3	14	△6
役務取引等利益	227	△11	128	△5	99	△6
その他業務利益他	0	△21	4	△23	△3	+2
( うち国債等債券損益 )	△11	△12	△4	△16	△7	+3
経費	825	△35	465	△19	360	△16
うち人件費	451	△7	250	△2	200	△5
うち物件費	320	△25	184	△15	136	△9
実質業務純益	566	+3	342	△23	223	+26
コア業務純益	577	+15	347	△7	230	+22
コア業務純益 ( 除く投信解約損益 )	517	+18	300	△11	216	+29
一般貸倒引当金繰入額 ( a )	8	+4	5	+0	3	+3
業務純益	557	△0	337	△24	219	+23
臨時損益	△123	△71	△60	△37	△62	△34
うち不良債権処理額 ( b )	127	+9	67	+5	59	+4
うち株式等関係損益	19	△51	22	△22	△3	△29
経常利益	434	△71	276	△61	157	△10
特別損益	33	+36	△7	△5	41	+41
四半期純利益	328	△29	176	△62	152	+32
信用コスト ( a)+(b)	136	+13	73	+5	62	+8

( 2 ) 貸出金利回り ( 財務省・特別会計借入金を除く )

	2017年度	2018年度	2019年度	2020/3Q	前年同期比	2019/3Q
2行合算						
国内業務	1.07%	1.03%	0.99%	0.96%	△0.03%	0.99%
国際業務	1.99%	2.92%	2.67%	1.37%	△1.40%	2.77%
国内+国際	1.08%	1.06%	1.02%	0.96%	△0.05%	1.02%
常陽銀行						
国内業務	1.02%	1.00%	0.97%	0.93%	△0.03%	0.97%
国際業務	2.01%	2.95%	2.69%	1.38%	△1.41%	2.80%
国内+国際	1.04%	1.04%	1.01%	0.94%	△0.07%	1.01%
足利銀行						
国内業務	1.13%	1.07%	1.02%	0.99%	△0.03%	1.03%
国際業務	1.82%	2.67%	2.48%	1.24%	△1.33%	2.57%
国内+国際	1.13%	1.08%	1.03%	0.99%	△0.04%	1.03%

## 【計数編】子銀行内訳

### (3) 貸出金末残 (円貨+外貨)

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算	個人	44,912	46,748	47,959	48,860	+1,165	47,694
	法人	49,359	51,391	51,813	53,500	+1,369	52,130
	公共	11,536	10,382	9,802	8,995	△441	9,437
	合計	105,808	108,523	109,575	111,356	+2,093	109,262
常陽銀行	個人	24,908	25,702	26,246	26,698	+598	26,099
	法人	28,539	29,743	30,026	31,020	+824	30,196
	公共	7,186	6,507	6,128	5,894	△372	6,267
合計	60,635	61,953	62,401	63,614	+1,050	62,563	
足利銀行	個人	20,003	21,046	21,713	22,161	+566	21,594
	法人	20,819	21,648	21,786	22,479	+545	21,934
	公共	4,349	3,875	3,674	3,100	△69	3,169
合計	45,172	46,570	47,173	47,742	+1,042	46,699	

\* 財務省・特別会計借入金を含んでおりません。

### うち外貨貸出金

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算		1,292	1,458	1,642	1,544	△52	1,597
常陽銀行		1,140	1,268	1,468	1,410	△36	1,446
足利銀行		152	190	173	134	△17	151

### (4) 住宅関連ローン末残

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算	住宅ローン	32,166	33,963	35,465	36,677	+1,539	35,137
	7年未満	9,504	9,585	9,336	9,087	△299	9,387
	資産形成	19	29	28	26	△2	28
	合計	41,690	43,579	44,830	45,791	+1,238	44,553
常陽銀行	住宅ローン	15,605	16,406	17,195	17,869	+872	16,996
	7年未満	7,635	7,691	7,486	7,289	△243	7,533
	資産形成	19	29	28	26	△2	28
合計	23,260	24,127	24,711	25,186	+627	24,559	
足利銀行	住宅ローン	16,560	17,557	18,269	18,807	+666	18,140
	7年未満	1,868	1,893	1,850	1,797	△55	1,853
	資産形成	-	-	-	-	-	-
合計	18,429	19,451	20,119	20,605	+611	19,994	

### (5) 無担保ローン末残

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算	マイカーローン	394	467	520	601	+94	506
	教育ローン	358	390	425	425	+13	411
	フリーローン	81	91	98	90	△8	98
	カードローン	654	650	654	609	△39	649
合計	1,489	1,600	1,699	1,726	+60	1,666	
常陽銀行	マイカーローン	274	322	352	429	+84	344
	教育ローン	300	319	340	336	+5	331
	フリーローン	8	22	35	35	+0	34
	カードローン	277	265	260	235	△20	256
合計	860	930	988	1,037	+70	967	
足利銀行	マイカーローン	120	145	168	172	+10	161
	教育ローン	57	70	85	88	+7	80
	フリーローン	73	68	62	55	△9	64
	カードローン	377	384	394	374	△19	393
合計	628	669	710	689	△9	699	

### (6) 法人貸出金・企業規模別

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算	大企業	15,922	16,337	16,354	16,831	+488	16,342
	中堅・中小企業	33,436	35,054	35,459	36,669	+880	35,788
	合計	49,359	51,391	51,813	53,500	+1,369	52,130
常陽銀行	大企業	11,419	11,591	11,651	12,221	+612	11,609
	中堅・中小企業	17,120	18,151	18,374	18,798	+212	18,586
	合計	28,539	29,743	30,026	31,020	+824	30,196
足利銀行	大企業	4,503	4,745	4,702	4,609	△123	4,732
	中堅・中小企業	16,316	16,902	17,084	17,870	+668	17,202
	合計	20,819	21,648	21,786	22,479	+545	21,934

### (7) 法人貸出金・地域別

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算	都内	18,158	19,088	19,675	20,018	+349	19,669
	地元	31,200	32,303	32,138	33,481	+1,020	32,461
	合計	49,359	51,391	51,813	53,500	+1,369	52,130
常陽銀行	都内	13,338	13,783	14,226	14,791	+489	14,301
	地元	15,201	15,960	15,799	16,229	+335	15,894
	合計	28,539	29,743	30,026	31,020	+824	30,196
足利銀行	都内	4,820	5,305	5,448	5,227	△140	5,367
	地元	15,999	16,342	16,338	17,252	+685	16,566
	合計	20,819	21,648	21,786	22,479	+545	21,934

## 【計数編】子銀行内訳

(8) 預金未残 (円貨+外貨)

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算	個人	101,036	103,627	106,850	114,162	+6,524	107,638
	法人	31,588	33,255	33,641	39,098	+5,430	33,667
	公共	7,763	7,501	7,373	5,951	+450	5,501
	合計	140,388	144,383	147,865	159,212	+12,405	146,807
常陽銀行	個人	62,806	64,401	66,336	70,680	+3,795	66,884
	法人	17,602	18,354	18,803	21,115	+2,378	18,736
	公共	4,681	4,536	4,592	3,687	+264	3,423
	合計	85,090	87,291	89,731	95,482	+6,438	89,043
足利銀行	個人	38,230	39,225	40,514	43,482	+2,728	40,754
	法人	13,985	14,901	14,838	17,982	+3,051	14,931
	公共	3,081	2,965	2,781	2,264	+186	2,078
	合計	55,298	57,092	58,134	63,729	+5,966	57,763

うち外貨預金

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算		2,752	3,060	2,197	2,140	△546	2,686
常陽銀行		1,991	2,226	1,764	1,851	△208	2,060
足利銀行		760	833	432	288	△337	625

(9) 預り資産残高

(億円)

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
グループ	投資信託	5,707	5,561	4,637	5,188	△261	5,449
	保険	7,790	8,172	8,126	8,205	△60	8,265
	外貨預金	2,038	2,185	1,661	1,757	△520	2,278
	合計	2,006	1,736	1,562	1,620	+70	1,550
	国債等	2,043	2,728	2,820	3,464	+460	3,003
	めぶき証券	19,586	20,383	18,809	20,235	△311	20,547
常陽銀行	投資信託	2,579	2,633	2,147	2,339	△179	2,518
	保険	4,506	4,656	4,719	4,804	+35	4,769
	外貨預金	1,277	1,355	1,229	1,469	△21	1,491
	国債等	1,380	1,185	1,041	1,075	+20	1,054
	合計	9,744	9,831	9,138	9,688	△145	9,833
	投資信託	3,127	2,928	2,490	2,848	△81	2,930
足利銀行	保険	3,284	3,515	3,406	3,400	△95	3,496
	外貨預金	760	829	432	288	△498	786
	国債等	626	550	521	545	+49	495
	合計	7,798	7,824	6,850	7,083	△626	7,709

(10) 預り資産関連手数料

(億円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020/3Q	前年同期比	2019/3Q
グループ	投資信託*1	73.6	56.9	59.1	42.6	+0.0	42.6
	保険*2	26.7	46.7	42.6	24.0	△9.1	33.1
	外貨預金	8.6	9.8	6.8	3.7	△1.0	4.7
	国債等	0.4	0.4	0.8	0.5	△0.0	0.5
	金融商品仲介	8.2	4.9	7.2	5.3	+0.4	4.9
	めぶき証券	30.5	19.4	29.8	22.2	+2.0	20.2
合計	148.2	138.4	146.6	98.5	△7.8	106.3	
常陽銀行	投資信託*1	33.4	26.3	28.3	20.3	△0.1	20.4
	保険*2	12.4	21.2	26.1	16.1	△4.3	20.4
	外貨預金	4.9	7.0	5.0	2.6	△0.7	3.4
	国債等	0.3	0.3	0.5	0.4	+0.0	0.4
	金融商品仲介	5.1	2.7	4.3	2.9	+0.1	2.7
	合計	56.3	57.7	64.4	42.5	△5.0	47.5
足利銀行	投資信託*1	40.1	30.6	30.8	22.3	+0.1	22.1
	保険*2	14.2	25.5	16.4	7.9	△4.7	12.6
	外貨預金	3.6	2.8	1.8	1.0	△0.2	1.3
	国債等	0.0	0.0	0.2	0.1	△0.0	0.1
	金融商品仲介	3.1	2.2	2.9	2.4	+0.2	2.1
	合計	61.3	61.2	52.2	33.7	△4.7	38.5

\* 1 : 販売手数料・信託報酬

\* 2 : 経営者保険を除く

(11) 法人役務取引手数料

(億円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020/3Q	前年同期比	2019/3Q
2行合算	与信関連	62.4	75.7	82.0	51.7	△5.5	57.3
	事業支援関連	18.3	20.2	14.4	11.5	+0.8	10.7
	合計	80.8	95.9	96.5	63.3	△4.7	68.0
常陽銀行	与信関連	33.9	41.4	42.4	28.0	△0.4	28.4
	事業支援関連	10.6	11.4	8.0	7.4	+1.4	5.9
	合計	44.5	52.8	50.5	35.4	+1.0	34.3
足利銀行	与信関連	28.4	34.2	39.5	23.7	△5.1	28.8
	事業支援関連	7.7	8.8	6.4	4.1	△0.6	4.7
	合計	36.1	43.0	46.0	27.8	△5.7	33.6

## 【計数編】子銀行内訳

( 12 ) 有価証券・未残 ( 貸借対照表計上額 ) ( 億円 )

	2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年度末比
国内債券	23,743	24,368	23,594	24,558	+963
外国債券	6,165	8,296	8,316	9,200	+883
FG連結 株式	3,078	2,802	2,260	2,492	+232
投資信託等	8,779	7,998	6,589	6,537	△51
合計	41,767	43,466	40,761	42,789	+2,027
国内債券	17,254	18,124	17,467	18,070	+603
外国債券	3,937	5,132	5,053	5,764	+710
常陽銀行 株式	2,632	2,434	1,972	2,173	+201
投資信託等	4,201	4,567	3,881	3,643	△237
合計	28,025	30,259	28,374	29,651	+1,277
国内債券	6,343	6,109	6,003	6,390	+387
外国債券	2,227	3,163	3,263	3,436	+173
足利銀行 株式	803	724	642	384	△258
投資信託等	4,535	3,387	2,667	2,852	+185
合計	13,910	13,384	12,575	13,064	+488

( 13 ) 有価証券・評価損益 ( その他有価証券 ) ( 億円 )

	2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年度末比
株式	1,573	1,362	869	1,221	+352
国内債券	164	211	92	74	△17
FG連結 投資信託等	98	72	△213	212	+425
外国債券	△120	103	243	540	+296
合計	1,716	1,749	991	2,048	+1,056
株式	1,448	1,280	851	1,153	+301
国内債券	179	193	90	69	△20
常陽銀行 投資信託等	170	126	△83	170	+253
外国債券	△34	104	128	253	+125
合計	1,763	1,705	987	1,647	+659
株式	344	284	208	253	+44
国内債券	173	157	115	101	△14
足利銀行 投資信託等	△52	△23	△106	57	+163
外国債券	△53	28	138	304	+166
合計	410	446	356	716	+360

( 14 ) 政策保有株式 ( 残高 ) ( 億円 )

	2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年度末比
2行合算 残高	1,305	1,255	1,140	989	△151
常陽銀行 残高	1,137	1,107	997	861	△136
足利銀行 残高	168	148	143	128	△15

( 15 ) 有価証券売却損益 ( 億円 )

	2017年度	2018年度	2019年度	2020/3Q	前年同期比	2019/3Q
2行合算 国債等	△64	△107	△20	△11	△12	0
株式等	105	107	4	19	△51	71
投信解約益	54	116	73	60	△3	63
合計	95	116	56	68	△67	135
常陽銀行 国債等	△38	△73	△9	△4	△16	11
株式等	94	124	6	22	△22	45
投信解約益	10	16	52	46	+3	42
合計	66	67	48	65	△34	100
足利銀行 国債等	△25	△33	△11	△7	+3	△11
株式等	10	△17	△1	△3	△29	25
投信解約益	44	99	20	14	△6	20
合計	28	48	8	3	△32	35

## 【計数編】子銀行内訳

		2017年度	2018年度	2019年度	2020/3Q	前年同期比	2019/3Q
2行合算	人件費	597	606	612	451	△7	459
	物件費	466	461	467	320	△25	346
	税金	71	73	70	53	△2	55
	合計	1,135	1,141	1,150	825	△35	861
常陽銀行	人件費	336	338	335	250	△2	253
	物件費	287	277	268	184	△15	200
	税金	39	38	38	29	△1	31
	合計	663	653	642	465	△19	484
足利銀行	人件費	261	268	276	200	△5	206
	物件費	178	184	199	136	△9	145
	税金	32	35	31	23	△1	24
	合計	472	488	507	360	△16	377

		2017年度	2018年度	2019年度	2020/3Q	前年同期比	2019/3Q
2行合算		79	93	190	136	+13	122
常陽銀行		49	42	101	73	+5	67
足利銀行		30	50	88	62	+8	54

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年度末比
FG連結	破産更正債権	166	159	127	110	△17
	危険債権	1,305	1,251	1,290	1,365	+74
	要管理債権	377	322	279	300	+20
	合計	1,850	1,733	1,698	1,776	+78
常陽銀行	破産更正債権	67	61	57	51	△5
	危険債権	653	664	699	749	+49
	要管理債権	198	175	125	129	+3
	合計	919	902	882	930	+47
足利銀行	破産更正債権	88	87	58	48	△9
	危険債権	650	585	590	615	+25
	要管理債権	179	147	154	171	+16
	合計	918	819	802	835	+32

		2018/3末	2019/3末	2020/3末	2020/12末	前年同期比	2019/12末
2行合算		11	5	12	31	+7	24
常陽銀行		10	3	3	5	△5	10
足利銀行		1	2	9	26	+12	14

## 本件に関する問い合わせ先

### 株式会社めぶきフィナンシャルグループ経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail [ir@mebuki-fg.co.jp](mailto:ir@mebuki-fg.co.jp)

URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>

### ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより 実際の数値と異なる可能性があります。